

# ならやま支部便り

第二百九十一号(二月号)令和6年1月1日(日)

一月 睦月(むつき) January

一日(月) 年賀 初詣

二日(火) 初荷 書初め

四日(木) 宮内庁御用初め

六日(土) 小寒

七日(日) 七草

八日(月) 成人の日

十八日(木) 土用入り

二十日(土) 大寒

二十六日(金) 文化財防火デー

今月の作品(ふくろうのペンダント) 宮崎圭子



若かりし頃、豚皮に色を塗ってペンチでかたちを整えニスを塗って作りしました。今年一年手づくりの作品を取り上げて頂き感謝いたします。

## 一月のスケジュール

元旦(月) 乗光 平城京跡 7時すぎ

五日(金) 愛連新年互礼会

六日(土) 第一回奈良県総連代表理事会並びに役員総会 リガール春日野

八日(月祝) 本部長相談役参与理事代議員会議 新春吟詠大会

新春吟詠大会

十日(水) お稽古始め

十四日(日) 哲昌会新年互礼会 13時

西大寺興正殿

十九日(金) 菖友会研修 西部 18時半

二十日(土) 東明未来塾本部コース 本部

二十五日(木) 近畿地区連絡協議会 尼崎

## 事務局より

☆お見舞い 池田憲美さん・山本貫昌さん  
お大事になさってください

☆哲昌会事務局忘年会&70周年役員慰労会

大山・長野

☆ならやま24回吟詠大会 池田黎・北岡・小林

大山・長野・峯田・米須・吉田謡・三島・古川

内山・松岡・山中房・木村・大條・宮崎・北

伊豆・山田・山根小・山根一

☆理事会(リモート参加) 池田黎

☆本部指導者級コンクール 集票:長野

☆近畿少壮チャリテイーリサイタル

池田黎(欠) 北岡(欠) 長野・山本②・木村

伊豆・廣瀬(欠)

☆ならやま水墨画教室 峯田・北岡・池田黎

他2名

☆新入会 桑田あや萌さん。(KOKO桜)

## 今月のお誕生日コーナー



森島優衣さん(寿美伶)

池田憲美さん(ひまわり)

水郡 葵さん(寿美伶)

おめでとございます

## 作詩部

あげは教室 山本貫昌

新しき 年の始めに 降る雪は

後の形見の 花と見ゆらむ

## 新年ご挨拶コーナー

相談役 衆議院議員 小林茂樹

新年明けましておめでとうございます。

昨年から自民党国土交通部会長代理を務めております。リニア中央新幹線の奈良駅開業は悲願です。

今年は辰年で還暦を迎えます。一層頑張ります。

詩吟の道を皆様と歩ませて頂きます。ゆつくりと

確実に。本年もご指導よろしくお願い申し上げます。

責任講師 池田黎

新年あけましておめでとうございます。

昨年はずっとも忙しい1年でした。大きな記念大会を終えた実績は今後の吟詠活動に大きな自信と達成感を頂きました。

これからの歳を重ねながら無理なく楽しく詩吟活動ができたらいですね。

哲昌会会長ボジションも、終わりに近づいてまい

りました。  
本当に皆様のご協力の賜物と感謝しています。  
どうぞ今年もより良いならやま支部づくりに力を  
注ぎたいと思っています。  
ご協力を御願いたします。

**相談役 北岡豊**

あけましておめでとうございます  
いつもお世話になっていきます。  
なかなか身体がゆうことを聞かず、ますますゆっ  
くりペースですが、皆様に助けていただき、大好  
きな吟道をこれからも楽しませていただきます。  
どうぞよろしく御願いたします。

**西田辺教室 大山水**

甲辰のとし、頑張れば成功する年と聞きます。  
どんな小さな事でも実を結ぶと楽しいですね。  
新年もよろしく御願いたします。

**支部長 長野伶菫**

新年明けましておめでとうございます。  
昨日はご協力頂き有難うございました。  
詩吟人口が減少しています。  
何とか良い案を今年も皆様と考え行きたいと思  
います。どうぞ宜しく御願致します。

**平松教室 峯田萱登**

新年明けましておめでとうございます。  
今年を上り龍の如き運気が上昇しますように願  
います。  
ならやま支部25周年記念大会に向け頑張ら  
し



**東京教室 池田富宣**

みなさま、あけましておめでとうございます。  
本年もよろしく御願いたします。  
こちら、東京支部で教室を開く事はほぼ無いので  
すが、家族仲良くやっております。  
先日、おかげさまで息子も1歳になり、元気に歩  
き回っております。哲菫会の記念大会には妻と一  
緒に壇上に出させていただき、初お披露目させて  
いただきました。これから大きくなるにつれてそ  
ちらに行く事も増えると思いますので、また皆様  
の御寵愛をいただきたく存じます。



寒冷のみぎり、どうぞご自愛いただき、良き年  
になりますようお祈り申し上げます。

**佐紀教室 吉田譚**

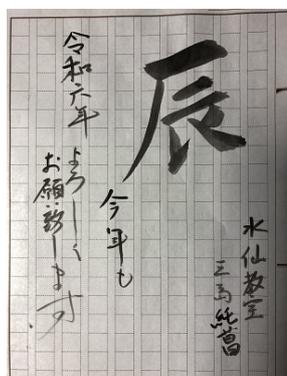
新年明けましておめでとうございます。  
昨年は卒寿祝い、ありがとうございました。  
本年もよろしく御願いたします。

**かぐや教室 米須姫宣**

明けましておめでとうございます。  
今年は吉野の地で吟活動を少しずつ広げていき  
たいと思います。



**水仙教室 三島純宣**



**光台教室 古川龍**

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはさぞかし輝かしい新年を迎えられたのではないのでしょうか。

辰年です。動物に当てはめると竜龍ですが、十二支で唯一の相像上の動物です。奇しくも私の吟号に一字をいただいております。

私ごとですが、今年80才を迎えることになり、自分では元気の去勢をはっていましたが、まず記憶力が一段と劣り、自分の体力と気力は知力と合致しなくなっているのが痛切に感じます。

会員皆様に支えられての日々ですが楽しく、交流の場として池田先生のご指導のもと頑張る所存です。宜しくお願い致します。

**GYU教室 奈良綺**

謹んで新春をお祝い申し上げます。

今年、長女すみれが四年生になり、次女えみりが幼稚園を卒園し春から小学生になります。

私は、昨年同様仕事を頑張りつつ新しい資格取得に向けて勉強する一年になりそうです。

本年も皆様のご健勝でご多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。



**あげは教室 山本賞**

明けましておめでとう御座います。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

知力低下防止と、年を重ねることによって無意識なガンコ老人となり品性が下落しない為に、人との接触・会話を意識して多くして、充実した人生にしたいと思えます。孫に対するクイズ形式の知育も効果がお互いに在ります。しかし、だいぶ残り人生は少なくなりました！(家で会話が無いというのは致命的です)

今の趣味・教養は、読書や講座(東明未来塾の講座もあります)への参加は別にして、中心となるのは詩吟とクラシック歌曲と上代文学(万葉集)の勉強です。

**今年の目標・抱負**

詩吟の素晴らしさを共有できる仲間を

3人増やす!! 頑張らないとこれは至難の業です。

一に声掛け二に声掛け、三、四がなくて五に声掛けです。

**かりん教室 内山しよう**

新しき年を寿ぎ 本年もご指導よろしくお願いいたします。

魁斗君 テニス

陽斗君 バトミントン

ラケットで楽しんでいきます。

**寿美伶教室 松岡通**

みなさん新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えの事と思えます。今年辰年、私の当たり年です。

ならやま支部、創立二十五周年、寿美伶

教室発足十七年、長野先生のもと六名の会員で頑張っています。(スタート時は、会員五名

途中五名増員、四名体調不良で退会)。関吟、哲喜

会、ならやま支部の行事には出来る限り参加しているのですが競吟大会には教室全員、出場出来て無いのが今年の課題です。

本年も教室全員力を合わせ、ならやま支部の発展に微力ながら尽くして参りたいと思えます。宜しくお願い申し上げます。(二〇二四年)

**KOKO通信クラス 松浦瑠**

明けましておめでとうございます!

簿記検定と危険物の資格取得の為に詩吟をお休みさせて頂いて2年目に入りました。

今年こそは、合格できるように試験勉強を頑張ります。

昨年は、仕事で10年目の壁にぶつかり、自分の処理能力の低さや人間関係に悩みました。処理スピードも、新しい作業内容を覚えるのも遅く、効率を上げる具体案も提案できず、自分から周囲へ積極的に働きかけることも難しく、管理職として求められる期待にはこたえられず、自分への批判の声に耐えうるだけの精神力もなく、退職届けを出す一歩手前まで来ていました。

上司に相談したところ「俺は、松浦さんの真面目さと人への誠実さを買っている。会長もあんな子はおらんって言っている。それだけ松浦さんは信用されているし、内勤の要になって欲しいと思っ分かついて欲しい。松浦さんの悪いところは、自分をだめだと思ってしまうところや。万人から好かれることは難しい。自分をいいと思ってくれ

る人もいれば、よく思わない人も必ずいる。自分に対して嫌なことを言ってくる人に対しての一番の対処法は、その人を越えること。今に見ているよ、この人を越える強さを松浦さんには持つて欲しい。ウサギとカメみたいなもんや(笑)」

と激励下さいました。

そして、社長からは「いてくれるだけでいい。しんどかったら、しばらく休んでもいいし、何でも相談してくれたらいい。一緒に年を取っていきたい。だから、これからも頑張っていこう。定年までね(笑)」と温かいお言葉をかけて頂きました。

また、経理の先輩からは、「松浦さんがいるから、私は続けているんだよ。松浦さんを育てることが私の仕事だと思ってるからね。他の人と比べて自分はダメだと思わなくていいし、何を言われても気にしないでいい。他の人だつてできていないことはあるし、それは私も同じ。松浦さんは確かに要領がいいタイプではないけれど、真面目にコツコツやる人だつて分かってるし、いきなり100%を目指すからしんどくなるねん。まずは小さな目標を立てて、そこへ向かって頑張ればええねん。」とご助言頂きました。

おかけ頂いたありがたいお言葉に感謝の思いでいっぱいになりました。一人で悩みを抱え込んで壁の前で身動きがとれなくなっていた私の前に新たな扉が開かれました。

もし、あのまま退職していたら、その後社会復帰できていなかったかもしれません。まさに、人生の分岐点でした。

何の摩擦もなくスツと上手くいくことは、楽かもしれませんが、逆に怖いことでもあります。それが当たり前だと勘違いしてしまったり、学びも少なく、それ以上の成長は望めません。人生に試練

が訪れるのは、その試練を乗り越えるだけの器があると思込まれたからであつて、乗り越えた先に得られた学びこそが神様が本当に与えたかったプレゼントなのだと思います。

試練は簡単に突破できないからこそ、突破する様々な方法を探して実践して失敗して、その経験を踏まえた上で、新たにまた情報を集めて策を練つて実践してと、突破するまで何度でも挑戦し続けていかななくてはなりません。それでたとえ突破できずに終わったとしても、挑戦してきたことは決して無駄ではありません。何を成したかではなく、どう生きたかが重要だと思います。今年も、自分がどう生きたいのかをしっかりと見つけて切磋琢磨しながら地道に歩んでいこうと思います。今年もどうぞよろしくお願い致します。

### 学びのコーナー

#### 「神話と神話学」

あげは教室

山本貴書

去年まで「学びのコーナー」は論語でした。今年にはシンボルがあります。語られている内容は世界中、共通したものがあつます。日本の学者は日本でオリジナリに発生したことを認めず、伝播だと主張する人が多いです。例えばこれはメラ

ネシア、ポリネシアから、東南アジアから、シナ大陸から、インド方面からという風なんです。この件は置いておきます。

神話分析にも言及したいと思ひます。

「古事記」の中で死んだイザナミを追つてイザナキは黄泉の国を訪れます。

これはギリシャ神話のオルフェウス物語(オルフェウスとエウリディーケの話)と類似しています

ね。私はギリシャ神話や悲劇が好きだったので、学生時代は自分の専門そつちのけで勉強していました。(文学部ではありませんでした)

イザナキもオルフェウスも死んだ最愛の妻を追つて冥界に行きます。

妻をこの世に連れ戻す為、タブー(禁忌)を守る義務違反を犯し、妻は冥界に留まらざるを得ず、現世と冥界との往来が永遠に失われるというモチーフです。日本的に言えば「見るなの禁」を犯したということですね。

神話学ではオルフェウス型神話と呼ばれています。オルフェウスの物語は有名なのでグルックが「オルフェオとエウリディーチェ」というオペラにしています。

オルフェウスは、冥界の王ハデスとの契約を破つて振り返つて妻を見る。イザナキは、妻のイザナミから決して私の姿を見てはならないという、「見るなの禁」を破つてしまいます。

イザナキが冥界から逃げる時に色々なものを投げつけて遮ろうとします。このモチーフは「呪的逃亡」と呼ばれるもので、世界各地に在ります。

なぜ世界の広範囲な地域に類似の神話が存在するのか?当然一つには伝播があります。もつと大きな理由は、人類は文化や環境が異なつても似たような思考を持つということですね。

#### 池田葛藜

11月5日が漸く終わりました。

ご来場の来賓の方々、哲書会会員の皆様。本当に有難うございました。終始笑顔が見受けられ、あー良かった!と胸を撫で下ろしています。ホテルを使つての開催は、時間の制約が中々厳しいです。

延長料金を支払う余裕もないのでなんとか4時間半でお開きに漕ぎ着けようと必死でした。来賓の先生に前もって3分でお願ひするなど、本当に失礼な事をさせて頂きました。お陰でスムーズに流れて、食事をゆつくり食べて頂きました。

役員の方々の腕の見せ所でした。

会員合吟も、皆さんとっても良かったです。

来賓の先生方も、きつとびっくりされていたと思います。

詩文の暗記。日頃吟じる詩文でもメモを持つ癖がある方。

段が上位になる程、しっかりと暗記で詠って欲しいと、私はずっと感じています。

今回は、田中哲菫先生の漢詩。

初めて対面される会員さんもおられたと思います。でも、我らの哲菫先生の漢詩です。

覚える迄しっかり何回もお稽古されたと思います。中々覚えられない。わかります。

母もそうでした。

やれるとこまでやりましょう。これからも。それまで間に合わなかったら、それはそれでいい。

それまでの努力に拍手を送りましょう。

なんとたつて、今回の70周年は会員さんのあつたかい眼差し、あつたかい言葉が、凄く嬉しいでした。哲菫会ばんざーい

### 主人の入院 池田菫黎

11月11日夜中に緊急搬送。脳梗塞だった。右脳に：攪乱が起こり、大変な時期を何とか乗り越えてSOU病棟から一般病棟へ。胃カメラ検査の後リハビリ病院へ変わる予定です。皆様には、大変ご心配をおかけしています。詩吟の行事は、これ

からの分は少し控えさせて頂きます。どうぞ宜しくお願いします。ならやまからお見舞い頂き有難うございました。  
(編集が十二月に入らずここで入れさせて頂きました)

### ならやま支部第24回吟詠大会の感想

#### 池田菫黎

皆様、疲れ様でした。

主人の事があつて、開催を思案しかけてましたが、それではせつかくの準備が申し訳なく開催に踏み切りました。

山本さんの入院もあつて、当日はプログラムの変更もありましたが、皆様の協力のおかげでスムーズに進行できました。

木村さんがお一人で司会をテキパキと進められてよかったです。

親睦会は古川さんとバトンタッチ。

時間の関係上三組の出し物だけでしたが、バザーも、ツバメ堂の出店も大盛況でよかったです。

大坪菫直先生の楽しいご講演、また、大坪劇場を楽しみにしております(笑)

KOKO金曜クラスの北さんの「ピンピンコロリ」自治会の方に声を掛けたら、このテーマを見て見学にお一人来られていました。

ならやま支部は元気なシニアが多いです。これからも健康に気を付けてピンピン頑張りましょう！



### 寿美伶水曜教室 木村怡菫

12月3日 みささぎ会館で第24回吟詠大会併せて北岡菫直先生33回忌が開会されました。

会は式次第で進行し米須姫菫さん(月音ちゃん)の指導で発音、発声練習をして会員吟詠が始まりました。

「新人の部」では今年会員になられた山根一郎さん、山根小夜子さんからスタートし階級別に会員の皆さんが日頃の練習の成果を朗々と吟じ進進してゆきました。

特に印象に残ったのは米須姫菫さんの「遊芳野」です。

情感あふれる艶やかな声量は家庭を持たれ母親に  
 なられて益々魅力的な吟を聞かせて頂きました。  
 また「高齡になられても朗々と「いにしへの」を  
 謳われた北岡菫先生の氣迫に圧倒されました。  
 吉田謡菫さんの「白帝城」も90歳のお歳とは思え  
 ない心に響く吟でした。  
 最後に「責任講師吟詠」池田菫黎会長の「和長持  
 吟」の吟詠の素晴らしさに感銘を受けながら会員吟  
 詠を終えました。  
 午後から「吟音クラブ吟詠」「お客様吟詠」「来賓  
 吟詠」と皆様の素晴らしい吟詠を披露していただ  
 きました。



この度のならやまステージは。パート1、パート  
 2と企画され、午前のパート1は講師NO.1金曜  
 教室の北良夫さんに健康講座「ピンピンコロリ」  
 と題し、高齡になられてもスポーツと向き合っ  
 て常に健康で居られるご自身の体験も含めてお話  
 して頂きました。

- 朝食は美味しく ○昼はよく動く ○よく眠る
- 風邪を引かない ○基礎的な運動を継続
- 鍛えるより壊れない体作り ○正しい姿勢
- 人間は足から枯れる(耳の痛い話です)
- よくよするな、無理するな、オシャレ忘れず、

毎日歩けをスローガンにスーパーエイジングを  
 目指して頑張りたいです！  
 午後からのならやまステージパート2は哲菫  
 会相談役の大坪菫直先生が「中国故事物語」を講  
 演してくださいました。

「人間万事塞翁が馬」は幾つかお話し頂いた中で  
 印象に残った故事です。  
 何かが起こった時一見幸福でも後の災いに、一見  
 災いでも後の幸福になる事がある。  
 人間の幸、不幸は判断し難いという解釈だそう  
 です。

中国故事は昔の出来事から生まれた教訓で故事の  
 一つ一つに由来になった歴史や物語があるよう  
 で大変興味深く聞かせて頂きました。  
 この後「大合吟」「閉会の言葉」「万歳三唱」と続  
 き無事閉会となりました。

この度の司会は一人で担当と知った時は戸惑い  
 を感じましたが「為せばなる何事も」の精神でチャ  
 レンジさせて頂きました。  
 無事閉会を迎えて曲がりなりにも勤め上げる事が  
 出来ホッと致しました。  
 ありがとうございます。

**KOKO金曜クラス 北 良夫**  
**「第24回詩吟大会を終えて」**

「五十、六十ははなたれ小僧、七十、八十花盛り、  
 九十になつて迎えがきたら百まで待てと追い返  
 せ」これは、私が六十歳を迎えたときに健康講座  
 で学んだ言葉で大事にしてきました。  
 講師は千葉大学教授多胡輝先生、当時「頭の体操  
 という本を書かれての有名な、  
 当然この先生の句であると信じて、なんの疑いも  
 なく今日までできました。

ところが数日前、奈良新聞のコラムにこの句の作  
 者が、有名な実業家渋沢栄一氏と説明されている  
 のをみてびっくり、早速その事実を調べて確認、  
 長年に渡つての思い違いを修正しました。  
 これも「ならやま詩吟大会」で講話の機会をい  
 ただいたことによるもので感謝です。

池田先生から高齡の故を持つてステージの講話の  
 機会をいただき、話題について考えました。  
 話したいことはいろいろある中、健康については、  
 誰もが共通して持つ課題であり、テーマも「ピン  
 ピンコロリ」としました。

これは私が常に口にしてる言葉だからです。  
 しかし、本番では話がうまくまとめられず、時間  
 だけが過ぎました。



会員の皆さんには、人生100年健康で長生きを  
 目指すための、日々の生活習慣を伝えたかったの  
 ですが、その思いが伝わらなかつたのではと反省  
 しています。

「朝飯うまい 昼よく動き 夜よく眠れて風邪ひ  
 かぬ」これはわたしの日常生活の「健康の量り」  
 として持っているものです。  
 人は2本の足で立つ、歩く走る動作を無意識で

こなしています。老いは必ずやって来ます。「人は足から枯れる」と聞きますが、高齢になつて大脳の働きの衰えた人は、両足をきちんと揃えて立つことができないことは証明されています。体と心は別々の器官ではありません。

「歩かなければ歩けなくなり寝たきりになる。歩いていけば歩ける、どこにでも行ける、新しい出会いもある。よく歩く人は生きることにも積極的だ」と、誰の句かわかりませんが、まさにその通りだと思えます。

**KOKO木曜夜クラス 山根小夜子**

先輩の方々の前での吟詠 大変緊張しました。無事詠じられ ホット致しました。感謝申し上げます。池田先生のおかげと

素晴らしい大先輩の吟詠 続ける事の大切さと広範囲の知識のお勉強の大切さを学ばせて頂きました。

会員皆様の優しさ 初心者に対するお心づかい等ずっと以前からのお知り合いかと勘違いする程でした。有り難うございました。若輩者ですがこれからもよろしくお願い申し上げます。



**KOKO木曜夜クラス 山根一郎**  
先日はありがとうございました。初めて大勢の方々の前での詩吟という事で大変緊張しました。演台の陰で皆様には見えていなかったと思います。膝がガクガクでした。声を大きく出す事を心掛け最後まで吟じることができホッとしました。



**水仙教室 三島純吾**

「令和五年度 第24回吟詠大会 併せて北岡菖 宦33回忌 みささぎ会館12月3日参加」



暖かい日差しの中行われました。開会宣言・支部旗入場・大会顧問衆議院議員小林

茂樹先生ご挨拶からスタートです。会員吟詠 ならやまステージ「ピンピンコロリ」北良夫さん

運動とは力強い収縮（赤い筋肉 有酸素運動）継続は力 日常の取り組み、正しい姿勢が大事。マイペースで!!人生百年時代 平均寿命男性82歳 女性87歳 健康で長く生きること

楽しんでこそ人生 くよくよするな、オシャレを忘れず、毎日歩け 笑顔で毎日過ごしたいものです。

楽しいお話あつという間の時間でした

昼食懇親会 バザー お客様吟詠始まり、遠くからお越しくださり、素晴らしい吟、聞かせていただいてありがとうございました。

ならやまステージ part2 大坪菖直先生、今回高知で生まれ育ったお話。万歳三唱も。木田さん、干支のプレゼント初めてじゃんけんでゲットしました。ラッキー!!

菖黎先生今回 和長持歌 心に響く声ありがとうございました。ごさいます。

菖菖さん、月音ちゃん 出席ほっこりさせていただいてありがとうございました。

菖優先生「いにしへの」力強い吟じやなく優しい声で朗詠されていました。

高橋さん一人で尺八ありがとうございました。元氣でお客様とまたお逢いいたしましょう。

楽しい一日ありがとうございました。

**KOKO金曜クラス 吉田禮子**



皆さまより卒寿のお祝いとシクラメンを頂きました。

優しく淡いピンクの花に慰められます。

忘れるのが専門で詩吟の上達にはほど遠いですが、楽しく学んできいこうと思っております。

皆さまありがとうございます。

かぐや教室 米須姫蒼

「詩吟と娘の距離」

先日のならやま24回記念大会に向けて、今の住まいである吉野を舞台とした、「吉野に遊ぶ」を練習する為、久々おうちで声を出しての練習の日々。すると娘は、琴尺が奏でる伴奏曲に興味を持ち、私の吟が重なる度に一緒に声を出すように。終いには詩文を覚える箇所があったり、音が合う時があったりと、子どもの吸収力には感心しなかい。

踊るように音と揺らめきながら育ってほしいと思いい、彼女の名前に「音」を付けた。きつと詩吟の音にも悠悠と流れるように舞い、そして溶け合ってくるのだからと彼女の成長を見て感じた。ツバメ堂のお菓子をご購入いただいたみなさま、ありがとうございました。

サータアンダーギーは幸せを呼ぶお菓子、ツバメは幸せを運ぶ鳥、届いたあなたに小さな幸せが舞い込んできますようににふえーでーびたん。

「自己満足、自己陶醉の善魔」

あげは教室 山本貴昌

クリスチャンでもあった作家の遠藤周作は、彼の造語である善魔という言葉を用いて社会感情を表していました。

悪魔ならよく分かりますが、善魔を理解するには、深い人間洞察・心理分析が必要です。そして、悪魔は平たく言えば退治すればよいのですが、「善魔」というのは、そう簡単にはいきません。

善魔の特徴・意味するところは、「自己を絶対的正義として、他の世界を認めず独善的に他者を裁くこと」という事が出来ます。

世間の人がこの事の理解を助ける言葉として、大いに参考になるのが「地獄への道は善意で舗装されている」という言葉が分かりやすいと思います。これは悪魔の甘い誘惑ですね。

自分の考えこそ絶対正義で、他者を裁くことに自己陶醉している人々です。(環境活動家のグレタみたいな人です) 一見正義に見えるので、質が悪いのです。なんと日本にはこの手合いが多い事でしょう。それが社会の意見をリードしてしまうのです。

少数者を保護・優遇すべきで、それこそが社会正義であると声高らかに言う不遜な善意(ニーチエ)が跳梁跋扈していますね。多数者を逆差別することに気が付かず、正義の陶醉に浸っています。

アメリカは大概ひどい国ですが、自己修復力を持つていて、行き過ぎを是正する力も持っています。どういう意味かという点、法律を修正・変更・廃止するのです。だんだん話がずれますが、日本は制定した法律を二文字たりとも変更しません。

アフアーマティブアクションという社会的差別によって不利益を受けている人々に対する救済優遇策というのがありました。今もすこし残っています。これは、多数者への差別・圧迫で、これこそ社会正義が行われず、自由な競争で自己の能力に応じて正当な対価が与えられないシステムは問題であるとされ、修正されています。

分かり易い例を言います。大学の入学者についてです。黒人と女性の優遇策です。普通、入学定員が100人ならば1番から100番までが試験結果で入学が許可されます。因子が多いと説明が複雑になるので、黒人だけに絞り込みます。

これから述べる数字は分かり易くする為、適当な数字でいってます。うえから100人の序列をつければ、100人中どの位置かは兎も角も20人が黒人だったとします。これは公平で、試験に合格の為の努力の結果だということです。

アフアーマティブアクションは違うのです。白人50人、黒人50人にしなければ、社会正義ではないとするのです。どういう事かという点、本来100番以内だった白人が落ち、成績が悪かった100番以下の黒人が入学を許されるということになるのです。このプログラムでは男性と女性でも、議員選挙でも、会社の役員でも適用されるのです。性差は無視です、絶対的な数合わせなのです。世界は今これで動いており、日本は女性の社会進出が遅れた野蛮な女性差別の国だと糾弾されています。有力な反論はあるのですが、紙幅の関係で止めておきます。また話が飛びましたので戻します。

自由な競争で、能力に応じた結果が得られるという大前提が歪められているという点で、是正されつつあります。しかし、敵もさるもので、そういったことは認めても、それがそもそも自由な競争でないと(民主憲言)のです。彼らは社会的弱者で虐げられてきたので(例えば金持ちなら家庭教師もついたらどうが、しかし、劣悪な環境のラムの人はそれもない)、日本流に言えば、ゲタを履かせればバランスが取れるという言い訳を

かりん教室 内山しよう吾

「出吟・合吟のリハーサル」



(写真は24回大会)

空で覚えたヨ。さあその気で。の先生方。

?%覚えの私も初回の方も。

リーダー『集合』『前列 後列』『客席を向いて!』

『出番の方々、初回のリハーサルですよ』



令和五年度第二弾・第三弾・・・と周年大会が控えていて、その間に昇段試験・コンクールが目白押し。

大会で深く思えたのは諸先生方のご立派なご挨拶の中に『舞台に出る経験をさせていただく事は・・・』とお言葉でした。

合吟に加わらせていただいた事で得られるものがあることでした。

各地からのご出席、各方面でご活躍されている方々、各係で早々とご準備をさせていただいていました。全てがかわさるとこんなにも盛大な一日が生まれるのですね。

池田先生の立姿、北岡先生のご出吟と観客席での姿勢をくさず聞き入っておられました。

コロナ感染の真つただ中を乗り越えられての勇氣とご活躍、ご指導ありがとうございます。

かりん教室 内山魁斗・陽斗

「校内でのクラス別合唱コンクールの感想」

最初はあんまり上手く合わなくて大変でしたが、でも回数を重ねていくうちにみんなが上手く揃えられるようになったのでいい経験になったのでよかったです。

「チャリティーリサイタル」を観て

あげは教室 山本真喜

第36回少壮吟士吟詠チャリティーリサイタルが令和5年12月17日(日)あましんアルカイックホール・オクトで開催されました。

私は学生時代からの友人 鎌田君を誘って観に行きました。

植田先生もチャリティーに出場され二題独吟されました。素晴らしかったです。

植田先生は背が高くくて着物姿も美しく、綺麗で大変舞台映えされる方です。

池田先生は事情で出吟を辞退されました。先生の出番が欠番になるのかなと思っていたのですが、

第1部の「佳賓好主」は林先生と長谷川先生が詠われ、2部の「春夜」は山岡先生と松葉先生と尾崎先生の3人で詠われました。

近畿少壮の会長の山岡桜山先生の御挨拶は、話

の内容・流れもよく、喋り方もお上手でした。しかし、ほんの少し長かったかなと思いました。

順序が逆になりましたが、オープニングの「兜」の時に紗幕が切つて落とされたの

ですが、その紗幕が正座して並んでおられる少壮の方(尾崎さんかな?)にかぶつ

てしまいました。ちよつとしたハプニングでした。しかし、かえつて緊張感がほぐれたと思います。

総合司会は伏尾先生なのですが、露払い的に尾崎先生の司会挨拶がありました。

私達は大山先生の圧倒的に上手い司会(声の質、イントネーション、センテンスの

つなぎ方、タイミング、活舌など司会に要求される全てを満たしておられます)を聴いていますから会場にいられたほかの方々とは、印象が違つて

思いますね。

日本吟詩舞振興会の沼崎会長の祝辞は3分でした。よかったです。

ハンセン病への支援事業の為の基金贈呈がありました。池内専務理事が受け取られ、ハンセン病は日本では既に過去の病ですが、世界的には未だ撲滅に至らず、ブラジルやインドやインドネシアでは相当な罹患がいるという事でした。

第1部は河野先生の尺八と琴 狩谷先生の生伴奏でした。狩谷先生は美形で紋付姿も美しい方でした。五つ紋の紋付を着ておられて、琴を三面並べて音程の違いで替えて伴奏をしておられました。ただ残念な事に、ご本人の胸の左側の紋が、着物が少し偏つていたのでしようか、見えなかったのが白壁の微瑕でしたね。

第2部は童心にかえつてくうるわしのうた語り(企画構成番組に適合した日本歌曲や童謡、和

歌、漢詩でつづられました。素晴らしかったですね。  
ナレーションは色々な先生が（出番の関係もあってでしょうか）担当されました。  
佐々木先生は聞きやすく上手でした。長谷川先生もナレをされました。大変温かみのある声と口調で、醸し出す雰囲気好感が持てました。  
一緒に行った鎌田君も喜んでくれて、夕飯を一緒にするなどして旧交をあたためることができました。有難う御座居ました。

**新入会コーナー**

12月20日入会しました、

桑田あや萌くわたあやめと申します。

奈良教育大学書道教育専修3回生です。

あだ名は小さい頃から「めめ」です。

ぜひめめと 呼んでください😊

詩吟は初心者ですが14歳から詩舞の方をしています。詩吟もこれから頑張っていきたいと思っていますので「指導よろしくお願ひ致します（\*）（\*）」

**今月のアレンジフラワー 廣瀬七重**

**花材**

シンビジウム（黄金色）

ダリア咲の菊

スプレー菊

南天

チューリップ



**英語が好きになる英文法 山本貴尊**

シリーズものの日本史が終了しました。

何かシリーズで書くこうと思ったのが表題の「英語が好きになる（はず）の英文法」です。

今回は第1回目なので導入部のお話です。

前に少し触れたことがあります。今から50年近く前になります。英語教育大論争がありました。

今までの（明治から続いた）文法中心の英語教育を改革して会話中心にして、喋れる英語にしようという事です。8年間（中学3年、高校3年、

大学2年）英語を勉強しても喋れないというのは、文法中心の英語教育のせいだとしたのです。

参議員の平泉 渉氏による改革案でした。彼は東大文科を出て外交官試験にパスした英語ペラペラの人でした。国民は会話中心にシフトする案に賛

成者が多かったと思います。英語が嫌いな人は、文法をやりたくない。理数系や文系何でも出来る

優秀な人は、自分が英語が出来ないのは、英語教育の在り方が間違っているからだと思つたのです。

アメリカでは三つ子でも喋っている、だのに優秀な私は喋れない。これは全くの錯誤です。中学の英語の授業時間は当時、週たった5時間程度です。アメリカの子供は毎日寝てる時以外14時間英語漬けです。語学とはそういうものなのです。必然的に外国語は喋れないのです。いざという時に正しい英語を書いて喋れる基礎を作るのが文法教育なのです。

渡部昇一先生は会話中心の英語教育に断固反対して、平泉渉氏と大論争になりました。現場の英語教師も会話派と文法派に分かれて天下を二分した感じになりました。

文法派は劣勢でした。喋れないから文法という砦に立て籠もるのだと、「悔しかったら喋って見ろ」という事ですね。

私は、英語は嫌いでしたが、文法派でした。家内は本当に綺麗なブリテイッシュイングリッシュで会話をしてましたが、しかし、文法派でした。語学は文法こそ基本であるという考え方でした。英語が得意な娘も文法派でした。

政府の方針は、英語教育を会話中心に変えて、AET（アシスタントイングリッシュティーチャー）その後、ALTとなり、各校に外人を配置して会話中心にして、文法はおざなりになりました。

家内の友達で大学の英語の講師が家内に文句言つてました。ちゃんと高校で英語を教えてもらわないと困る。複数形の「S」も三単現（三人称単数現在）の「S」もアポストロフイースの「S」も全然わかってない。こんな生徒を大学に送り込んでらつては、講義にならない。大迷惑だと。関係代名詞を使った文章を訳すことも書く事も出来ない、先行詞は何かという事も全く理解してい

ない。涙がちよよぎれるということですが。これはグチですから置いておきます。渡部先生は英文法の教育が日本語（文法）に与える効果についても述べておられました。国文法は難しいですから。

それでは、その後、日本人の英語力はどうかたのかと言え、無残としか言いようがないです。嘗て英語圏の国も含めてトップクラスだったのですが、チャラチャラした会話中心の教育になった為、北朝鮮の一つ上、即ち、実質上最下位に転落してしまつたのです。当然他の科目にも悪影響を及ぼしました。

エピソードを一つ述べます。アメリカへ留学した人（名前は敢えて言いません、

当時の留学生としてはごく一般的でしたが）が論文を書きました。指導教授に見てもらう前に、大学の友達の院生に文章をチェックしてもらいました。何力所か添削されたようです。本人はそうかなと思いつつ、それを指導教授に渡しました。指導教授は素晴らしい論文だと褒め、この大学に来た時はろくに聞くことも喋ること出来なくて、講義についてくるのが大変だったのによくガンバツタな、とねぎらいました。そして教授は文章を数力所訂正して、これで清書するようにと返却されたのです。

見てみると自分が最初に書いた（文法の）文章だったのです。ネイティブスピーカーであるアメリカ人の院生よりもレベルが高かったのです。来月から文法の話です。

今月のレシピ 山根小夜子

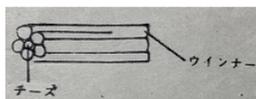
梅花ソーセージ

【材料と分量】

- ウィンナーソーセージ 5本
- 棒チーズ 1本
- 小麦粉 少々

【作り方】

- 1、チーズ ソーセージの フィルムを剥がし それぞれに小麦粉をまぶす  
余分な粉をはらい落とし チーズが中心になる様に組み、すだれでクルツと巻いて
- 2、3 か所 輪ゴムをはめ 固定させる
- 2 蒸気の上がつた蒸し器に入れ 7、8分 蒸す
- 3 冷めてから すだれを はずし 1センチ 厚さに切る



寄稿

「ならやま支部」吟詠大会に参加して

奈良支部 大坪直直先生

昨年末『ならやま支部』様の二十四周年記念吟詠大会おめでとう御座居ました。

当日申し上げましたが、支部会員の皆さんで大きな岩になった感ありで、大変良い会で

した。小生もお招きにあずかり吟詠また駄弁を弄する機会を頂きました事、厚く御礼申し上げます。



さて、その時の続きのような話になりますが、高杉東行作の「囚中作」の一句に

『また見ずや石をいて流れに投ずる楚の』とあります。また、み給え楚の国の忠臣屈原は、国を思い主君の為に懐に石を抱いての淵に身を投じて死んだではないか、自分自身のことなど考えてない

とある。 我国では、端午（男子）の節句に粽を食べる習慣がありますが、これは楚の屈原の故事から来ているのではないかと思います。何故なら、こんな話があります。屈原が死んだあと、姉の夢枕に立つて『腹が減って仕様がないう』と、言った。そこで姉は、沢山の『こはん』を汨羅の淵に投げ入れたが、またまた夢枕に立つて『姉さん折角『こはん』を入れてくれたのに途中で全部魚に食われて僕の所に届かないよ』、そこで姉は『こはん』を練って笹の葉で包み、再び投げ入れたら無事届いたそうです。

そこで我国では粽を食べ、て屈原の様な立派な人間になるんだよ、という事らしいが、当の中国ではそんな習慣は無いと聞く。いづれにしても、よくできた話であることには違いないのである。

**吟音クラブ 高橋哲美様**

「コロナ5年目、悲喜交々。」



門松飾りで正月を迎えるのも気がつけば72回目。嬉しいことも多少あるけど、悲しいことが我が人生の歩みを早めるよう。写真は数日前不祝儀のため帰省した真室川の風景。

楽しく嬉しいのが、かのんちゃんとお母さん。

「ならやま」はこれからまだまだどんどん楽しんでいっどいに成長します。



素人尺八、息のつづく限りいっしよに楽しませていただきたいと、体力向上に近所を歩いて頑張ります。今年もどうぞよろしく願っています。

「ならやま支部第24回吟詠大会に参加して」

**h u m i y o 様**

今年も、またならやま支部の吟詠大会に参加させていただきました。

しようたるうさんとの思い出が一杯のならやま支部の大会です。

元気でこうして参加させていただくことが何よりうれしく思います。

例年通り、来年の干支の動物を作って、お土産に持参しました。

皆様とご一緒出来る吟詠大会です。

大きな声を出して発声練習をして、吟詠が始まります。指導して下さった澄香さん、一緒に壇上上がったかのんちゃんの姿が、大会を和ませてください。

全員で詠う大合吟が会員吟詠の前と、式典の前。そして大会の閉めにあつて、一体感が生まれます。

ならやまの「和」を感じながら詠いました。

ならやまステージでの講演では楽しく、ためになるお話を聞かせて頂くことが出来ました。

正しい姿勢で、詩吟を続けて、元気でこれからも過ごしたいものです。



式典の中で、支部便りに毎回、絵を投稿してい

るという事でお世話賞をいただき、本当にありがたいとございました。毎回、その時期の花を選んで描いていますが、花ことばを知る楽しみもあり、支部便りで見て頂けることをうれしく思っています。

来年も元気でこの大会で、お会いできることを楽しみにしております。

**久保田国繁様**

とても楽しいプログラムで、あつという間に時間がたちました。

年齢を感じさせない活力溢れる皆様のパワーに大変驚かせていただき、私も元気をいただきました。詩吟を通じて様々な事を学ばせていただき、また皆様との交流がもて、嬉しい一日となりました。

私としては、吟詠中に詩文をカンニングした事を反省しています。

また次回に活かしたいと思えます。この度は有難うございました。



安田行軌様 やまと吟詩会

「第24回ならやま支部吟詠大会に参加して」

2023年12月3日(日曜日)、みささぎ会館に於いて、公益社団法人関西吟詩文化協会公認 哲菖会ならやま支部第24回吟詠大会が開催されました。



今年のならやまステージは北良夫さんの「ピンピンコロリ」と大坪菖直先生の「中国故事物語」の豪華2本立てとなっております。また、恒例のお楽しみバザーと抽選会もあり盛り沢山な内容です。「ピンピンコロリ」では考えさせられることがいっぱいありました。私も健康のことも考え、以前に一人でランニングを始めたのですが、今日は寒いからとか仕事で疲れたからと言いつつ、長らくは続きませんでした。暫くして、こんなんじゃないかなと思つてまたランニングを再開するのですが、結局長続きせず。一人ではやる気を維持するのが難しく、仲間がいて目標があることで継続することができ、その継続が健康に重要だと思います。私が90歳になった時、北さんのように元気でいれる自信もないですが、元気で楽しくいられるように心掛けたいと思います。

恒例の抽選会ではコニファーが当たりました。自宅に帰ってから大きな植木鉢に移し、家族はク

リスマスに飾り付けをしようと喜んでいました。自宅前にはコニファーと去年に当たったシクラメンを並べ、冬を演出してくれています。

私の吟はと言うと、お客様吟詠ということで出吟させて頂きました。大会前に少し風邪をひいて練習ができず不安でしたが、上手いかどうかは別として尺八の伴奏を聴きながら落ち着いて気持ちよく吟ができました。

当日は哲菖会の多くの方々と話をする事ができ楽しく過ごすことができました。早朝より準備して頂いた哲菖会の皆様、楽しい一日本当にありがとうございました。

**今月の絵 humiyo 花**



玄関先に置いてある鉢植えのシンピジウム。水やりくらいしか世話はしていません。毎年、この時期になると、可憐な花を咲かせて楽しませてくれています。

花言葉を調べてみました。淡い中間色で咲くからでしょうか、「飾らない心」「素朴」。

そして、気品のある花姿から、「好個な美人」とありました。

寒くて、花の少ない時期に花を見せてくれて、新しい年の初めに感謝です。

**シニア川柳**

- ☆ まつすぐに 生きてきたのに、腰曲がる
- ☆ 冬の日の 一番風呂は 命がけ
- ☆ 誕生日 ろうそく吹いたら 立ちくらみ
- ☆ 万歩計 半分以上は 探し物

**編集後記**

令和六年！今年はどうなるのでしょうか。昨年とは色々ありました。

今年、ならやま支部が発足して25年目。泉下で、菖津先生を始め沢山の元ならやま支部の皆様方が喜んでくださっていることと思います。思い出に残る1ページを皆様と一緒に作りましょう。

ならやま支部便りも、本年度よりリニューアル。今月の作品・英語が好きになる英文法・今月のレシピ・お楽しみに♡

毎回、最終ページに勝山様の手記を記載させて頂いたが、とても好評でした。

本当に長い間ありがとうございました。

(ちよつと寂しいです)

黎☆

公益社団法人 関西吟詩文化協会  
公認哲菖会 ならやま支部  
発行責任者 責任講師 池田菖黎  
FAX&TEL  
0742-33-3496

